

— 高付加価値旅行者 — 『受入基礎知識とモデルコース造成』

ラグジュアリートラベラーの誘客を図ることは、地域産業全体への経済効果の拡大と自然・文化等の未来への継承という持続可能な観光地形成に寄与する効果が期待され、特に地方への誘客を促進することは地方創生へも寄与することから、今後の函館におけるインバウンド戦略において重要な柱になると思われます。

つきましては、ラグジュアリートラベラー誘客と受入の第一人者を講師に迎えた研修会を開催します。

日時

2024年11月15日(金)10:00~16:00

場所

函館市中央図書館大研修室
(函館市五稜郭町26番1号)

定員

30名様 (定員になり次第締め切りとさせていただきます)

対象者

市町村観光所管職員、観光協会職員、DMO職員、
地域おこし協力隊、観光事業者ほか

参加申込

右記の二次元バーコードからお申込みください。



プログラム

- 主催者挨拶 10:00
- 事例紹介 10:10~12:00

①「ラグジュアリー・トラベル・マーケットへのアプローチ」 インバウンド戦略研究所代表取締役 清水 泰正氏

ラグジュアリートラベラー向け道南地域モデルコースを造成するために、まずは知っておかなければならない、マーケットの現状と地域コーディネーターの必要性を各地域DMOのアドバイザーとしてラグジュアリートラベラー誘客を実践されている講師からアドバイスをいただきます。



②「ラグジュアリー・トラベルマーケットとは」 鶴雅リゾート株式会社 取締役 アドベンチャー事業部長 高田 茂氏

北海道におけるアドベンチャートラベルの先駆者であり、現在も阿寒湖での自らのガイド経験を元に、
・富裕層とラグジュアリートラベラーとの違い・アジア圏・欧米圏外国人観光客の違い
・私達がターゲットとすべきマーケット層とは？・グローバルニッチが期待する場所？
実際のケーススタディ・ラグジュアリートラベラー獲得のヒントについてお話いただきます。



【各自昼食】

- モデルコースづくり/ 13:00~15:00
グループに分かれ高付加価値旅行者向けモデルコースづくり
ファシリテーター 北海道運輸局観光部国際観光課係長 田尻 一樹氏
- 講評・まとめ 15:00~16:00

－ 高付加価値旅行者 － 『受入基礎知識とモデルコース造成』

講師プロフィール

インバウンド戦略研究所

代表取締役 **清水 泰正氏**



慶應義塾大学法学部卒(2003年)京都大学経営管理大学院
観光経営科学コース修了(2021年)(経営学修士、MBA)
2000年 外務省在ブルネイ日本国大使館(2002年3月まで)
2004年 日本政府観光局(JNTO)入局
2009年 同シンガポール事務所
2014年 同香港事務所(2018年3月まで)
2018年 Japan Tourism Research & Consultancy社 設立(香港)
Japan Tourism Research & Consultancy Limited 代表取締役
京都市観光協会(DMO Kyoto) アドバイザー、広島県観光連盟アドバイザー、
(社)日本フォトウェディング協会 顧問

鶴雅リゾート株式会社

取締役 アドベンチャー事業部長 **高田 茂氏**

1959年北海道北見市生まれ 明治大学政経学部卒業。在学中、ラグビー部に所属し
2度大学選手権優勝。

1986～2008年 ホテル経営のかたわら阿寒湖のフライフィッシング、カヌー普及の
ため様々な取組に尽力される。(プロの誘致、カンファレンス開催等)

2009年鶴雅リゾート入社、

2017年12月鶴雅アドベンチャー事業部開設とともに事業部長に就任

※2016年ATWSアラスカ、2017年ATWアルゼンチン、2018年ATWSイタリア、
2019年ATWSスウェーデンに4年連続参加し、阿寒でのアドベンチャートラベルを
世界に発信。

2018年4月に阿寒湖で「安全管理がしっかりできる森や水辺のエンターテイナー」を
コンセプトとしたアドベンチャーズベース(SIRI)をオープンし、現在に至る。

(一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会理事



運営委託

観光機構観光人材育成事業(従業員研修)コンソーシアム

お問合せ

✉ kanko@live-kk.co.jp